

エアポート・サービス科グランドハンドリングコース(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人間学Ⅱ	2	30		○			○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の授業時数の合計が780時数以上であること
	ビジネスマナーⅡ	2	30		○			○		
	資格取得対策	2	30			○		○		
	コミュニケーションアクシオン体育Ⅱ	-	30		○				○	
	英検Ⅱ	8	120		○			○		
	英会話	4	60			○		○		
専門科目	エアラインビジネスⅡ	2	30			○		○		
	空港業務知識Ⅱ-1	2	30		○			○		
	空港業務知識Ⅱ-2	2	30			○		○		
	コンピュータ実践	2	30			○		○		
	コミュニケーション実践	2	30			○		○		
	ロードコントロールⅡ	2	30		○			○		
	グランドハンドリング業務Ⅱ	2	30		○			○		
	グランドハンドリング実習Ⅱ-1	3	120		○				○	
	グランドハンドリング実習Ⅱ-2	3	150			○			○	
	航空機概論	2	30			○		○		
	企業研修教育(基礎)	3	120			○			○	
	企業研修教育(応用)	6	270			○			○	
計		49	1200						780以上	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目				開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	人間学Ⅱ		担当教員名	A科常勤教員・学生支援課 (1~12,15回)				学生支援課 (14回)
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢				
			80%	20%				
教員実務経験	—							
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。							
教科書	書名	社会人基礎力講座			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1) 良い人間関係を作るには
2		(2) 会社の仕組みと組織
3		(3) 社会人としてのマナー
4		
5		
6	社会人基礎力	(1) 前に踏み出す力
7		(2) 考え抜く力
8		(3) チームで働く力
9		アクティブラーニング(調べる、纏める、発表する)
10※	グループディスカッション	
11※		グループディスカッション
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
15※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義(コンプライアンス)

2026シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	ビジネスマナーⅡ		担当教員名	田中 あおい			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	内定前・内定後にも有効活用できるヒューマンスキルを磨いていきます。社会人としてのスタートに向けた行動変革と実行力を知識および行動の側面から学習します。						
到達目標 (150文字程度)	①就職内定に向けた社会人基礎力を身につける。 ②自己肯定感とチーム力を身につけ、組織人としてスタートを切る力を習得する。 ③社会人としての一般常識マナーを習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	小テスト	取り組み姿勢		
			60%	20%	20%		
教員実務経験	客室乗務員における実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	先輩や同僚から愛される新入社員を目指し、ベーシックマナーと参画意識を身につけましょう。接遇者として、好感度の高いマナーを身につけます。						
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール			書名		
	書名	社会人基礎力講座			書名		
参考書	書名	グループ体験学習ワーク			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人基礎力	自己分析と対策	
2	社会人の基本ルール	あいさつの基本・名刺交換/紹介のしかた・されかた	
3		職場の人間関係の基本/役職・先輩上司・同期・後輩との付き合い方	
4		報連相の基本(月報・届け出の書き方・休暇・遅刻・早退・欠勤報告)	
5	業務マナー	社会人としての言葉遣い(敬語・ビジネス慣用語)	
6			
7		指示の受け方(メモを取る)・依頼のしかた/携帯電話のマナー	
8		社会人としての時間管理(始業前・終業・退社・ワークライフバランス)	
9		会議の運営(準備・心構え・マナー)	
10	一般常識マナー	ビジネス文書の基本ルール	
11		手紙のマナー/年末年始の挨拶/お中元・お歳暮	
12		ビジネスメールのルール	
13		冠婚葬祭のマナー/食事のマナー	
14		新社会人としての第一印象(身だしなみ・ビジネス小物・通勤スタイル)	
15	モチベーションマネジメント	自己肯定感/自己管理	
			レポート

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	後期
授業科目名	資格取得対策		担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格を取得するための知識付与 ②国際空港内車両運転資格取得に向けた知識付与 ③航空機の運航整備補助、地上走行支援業務の知識付与						
到達目標 (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格が取得可能な知識を習得 ②国際空港内車両運転資格試験に合格できる知識習得 ③運航整備補助、地上走行支援業務の知識習得						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%				
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリングスタッフとして必要な資格を早期に取得するため詳細な知識を学びます。知識習得を目指して積極的に授業に臨んでください。						
教科書	書名	DGR 67th Edition		書名	配布資料		
	書名	ICAO-IATA危険物規則の抜粋(2018年度版)		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	IATAディプロマ危険物試験対策	IATAディプロマ危険物コース試験の概要
2		航空危険物輸送規則1～5章
3		航空危険物輸送規則6～10章
4		過去問題の演習及び解説
5		過去問題の演習及び解説
6	国際空港内車両運転資格	空港内運転規則の概要
7		空港内運転規則解説①
8		空港内運転規則解説②
9		空港内運転規則解説③
10		過去問題の演習及び解説
11	運航整備補助、地上走行支援業務	運航整備補助、地上走行支援概要
12		各種誘導信号の理解と対処方法
13		コクピット点検、操作要領および緊急時の処置
14		航空機地上移動の種類、緊急時の処置
15		運航整備補助、地上走行支援業務まとめ

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科グランドハンドリングコース			開講時期	2年次	前期
授業科目名	コミュニケーション アクション体育Ⅱ		担当教員名	蓑島昌尚		
授業形態	実習	授業時数	30	単位数	-	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会で健康に働くために役立つ知識を身につけるとともに、仕事に必要な体力の向上と、保持増進を図ることができる。また、仲間と一緒に取り組むことで、コミュニケーション能力を身につける。					
到達目標 (150文字程度)	仲間と協力しながら、健康に生きるための知識と、運動の仕方を身につけ、実践できる。					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	課題評価	授業への出席率と課題追及への態度 課題の内容と課題達成度(発表内容)	
	なし	なし	50%	50%		
教員実務経歴	小中学校において教員経験37年。中高保健体育免許。部活動顧問。					
学生へのメッセージ (150文字程度)	仲間とのコミュニケーションを高めるとともに、体力の向上を目指そう。					
教科書	書名			書名		
	書名			書名		
参考書	書名			書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)

回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	今年度の学習内容を理解し、個人の目標を設定することができる。
2	軽スポーツ体験1	ラケットベース体験① アップストレッチ
3	軽スポーツ体験2	ラケットベース体験② アップストレッチ
4	軽スポーツ体験3	ラケットベース体験③ アップストレッチ
5	運動と健康1	ケガの予防と応急処置 ストレッチ
6	運動と健康2	労働と病気(仕事と病気の関係) ストレッチ
7	軽スポーツ体験4	モルック体験① ストレッチ
8	軽スポーツ体験5	モルック体験② ストレッチ
9	軽スポーツ体験6	モルック体験③ ストレッチ
10	課題追及1	グループダンス作成と個人研究① 筋力アップトレーニング
11	課題追及2	グループダンス作成と個人研究② 筋力アップトレーニング
12	課題追及3	グループダンス作成と個人研究③ 筋力アップトレーニング
13	課題追及4	グループダンス作成と個人研究④ 筋力アップトレーニング
14	課題発表1	グループダンス発表 評価
15	課題発表2	個人研究発表会

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	英検Ⅱ		担当教員名	荒田 修央			
授業形態	講義	授業時数	120	単位数	8	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検を1年次に引き続きレベルアップさせることを目指す。						
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定準2級合格または同等能力の獲得を目指す。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	課題			
	80%	0%	10%	10%			
教員実務経験	企業間取引現場での通訳 貿易翻訳 留学支援及び英会話指導						
学生へのメッセージ (150文字程度)	英語に対する苦手意識を払拭し道具としての英語を習得できるよう頑張ってください。 英検資格取得をモチベーションとして捉え英語・英会話の学習に取り組んでください。						
教科書	書名	集中2週間完成【1】英語長文(高校初級)			書名		
	書名	英検3級予想問題ドリル 新試験対応版			書名		
参考書	書名	一年時に使用した教科書類			書名		
	書名	英検過去問			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1		英語による自己紹介、年間目標を英作文	
2		英検3級予想問題ドリル 第1日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説	
3		小テスト 1 英検3級予想問題ドリル 第1日目 長文読解 解説	
4		小テスト 2 英検3級予想問題ドリル 第1日目 長文読解 解説(2)	
5		小テスト 3 英検3級予想問題ドリル 第1日目 英作文 指導 解説	
6		英文日記 取り組み方 プレゼンテーション(1) 第1回確認テスト	
7		リスニング、レシテーション	
8		英語長文 第1日	
9		英語長文 解説 調べもの	
10		英語長文 第2日	
11		英語長文 解説 調べもの	
12		英語長文 第3日	
13		英語長文 解説 調べもの	
14		第2回確認テスト	
15		英検3級予想問題ドリル 第2日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説	
16		小テスト 4 英検3級予想問題ドリル 第2日目 長文読解 解説	
17		小テスト 5 英検3級予想問題ドリル 第2日目 長文読解 解説(2)	
18		小テスト 6 英検3級予想問題ドリル 第2日目 英作文 指導 解説	
19		英検3級予想問題ドリル 第3日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説	
20		小テスト 7 英検3級予想問題ドリル 第3日目 長文読解 解説	
21		小テスト 8 英検3級予想問題ドリル 第3日目 長文読解 解説(2)	
22		小テスト 9 英検3級予想問題ドリル 第3日目 英作文 指導 解説	
23		英文日記 プレゼンテーション(3) 第3回確認テスト	
24		英検3級予想問題ドリル 第4日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説	
25		小テスト 16 英検3級予想問題ドリル 第4日目 長文読解 解説	
26		小テスト 17 英検3級予想問題ドリル 第4日目 長文読解 解説(2)	
27		小テスト 18 英検3級予想問題ドリル 第4日目 英作文 指導 解説	
28		リスニングテスト 第4回確認テスト	
29		小テスト10 英語エッセイ作文	
30		文法事項の確認・復習 質問	

回=90分	項目	内容
31		英文日記 レシテーション ディクテーション
32		英語長文 第4日
33		英語長文 解説 調べもの
34		英語長文 第5日
35		英語長文 解説 調べもの 第4回確認テスト
36		クロスワードパズル プレゼンテーション
37		英語長文 第6日
38		英語長文 解説 調べもの
39		英語長文 第7日
40		英語長文 解説 調べもの
41		英語長文 第8日
42		英語長文 解説 調べもの
43		英検3級予想問題ドリル 第5日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説
44		小テスト 19 英検3級予想問題ドリル 第5日目 長文読解 解説
45		小テスト 20 英検3級予想問題ドリル 第5日目 長文読解 解説(2)
46		小テスト 21 英検3級予想問題ドリル 第5日目 英作文 指導 解説
47		英検過去問指導 語彙 穴埋め問題
48		英検過去問指導 文法 長文読解
49		英検過去問指導 長文読解 英作文 英語長文 解説
50		英検2次試験対策 面接練習3
51		英検2次試験対策 面接練習4
52		英語長文 第9日
53		英語長文 解説 調べもの
54		英語長文 第10日
55		英語長文 解説 調べもの
56		英語長文 第11日
57		英語長文 解説 調べもの
58		英語長文 第12日
59		英語長文 解説 調べもの
60		総括 テスト対策

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポート・サービス科	グランドハンドリングコース			開講時期	2年次 後期	
授業科目名	英会話		担当教員名	ORIBE Bryn / Guillemot Rachel			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. A variety of written exercises and lecture topics, beginning with elementary grammar, advancing as students progress. Building vocabulary sets, beginning with nouns, verbs and adjectives. Thereafter, moving to set phrases.						
到達目標 (150文字程度)	To increase student reading & listening ability, and language comprehension, to increase their ability to communicate in English. A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. This class includes a Grammar component.						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
教員実務経験	Bryn: 日本での英語指導歴20年(対象は幼児から成人まで) Rachel: フランスでの高校教員免許「英語」保有、日本では英語指導歴7年						
学生へのメッセージ (150文字程度)	Developing reading & listening skills is a leap towards mastering English. Grammar is essential to language, and it is not as difficult as you think! English vocabulary is like Lego, once you understand the “blocks” you can make what you wish!						
教科書	書名	オリジナルプリント教材		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1		Introduction
2		To Be
3		Newspaper
4		Hobbies
5		Simple Present Tense
6		Movies
7		Simple Present Part 2
8		Music
9		Prepositions
10		Newspaper
11	各テーマにつき 以下を実施	The Past
12		Present Continuous
13		Newspaper
14	1. 会話の実践と応用 2. 文法解説 3. 語彙習得	The Future
15		Modal Verbs
16		Routines
17	進捗に応じて ・小テスト	Modal Verbs Part 2
18		Newspaper
19	Locations	
20	Comparatives	
21	Newspaper	
22	Recent Events	
23	Superlatives	
24	Newspaper	
25	Present Perfect	
26	Present Perfect	
27	Newspaper	
28	Quiz	
29	Review	
30	Review	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次 後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	エアラインビジネスⅡ		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空専門学校生目線でエアライン新ビジネス会社設立(架空)に向け柔軟な思考で検討しあい、必要な情報の取得方法や、発言力・提案力・傾聴力を強化する。また航空業界が抱える未来の問題についても考える。						
到達目標 (150文字程度)	1. 航空関連の時事ニュースのキャッチ力を強化する 2. 航空会社の従業員満足、顧客満足への取り組みを学ぶ 3. 国内地域や海外に視野を広げ、各地の地域特性や課題を洗い出し、エアラインビジネス的提案を行う						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
		20%	80%				
教員実務経験	エアラインでの総合的な実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	日本や世界の地理的な特色や地域特性を調べ、将来のエアラインビジネス的課題を多角的に捉え、チームで熱く討論を重ね、発案や問題解決策を講じる力を養いましょう。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、TOPICS 最新情報の調べ方、共有方法について
2	日本の地域、空港	北海道地方、東北地方、北陸地方、関東地方、東海地方、関西地方、中国地方、四国地方、九州地方、沖縄地方の都市、空港、航空会社、特性、課題を抽出
3		
4		
5		
6	グローバル	世界の中の日本、国際経済について
7	物流	物流を考える
8	ビジネス企画書	会社立ち上げ企画書を作成
9	ブランディング	ブランディングを考える
10	レベニューマネジメント	レベニューマネジメントの必要性
11	CS	顧客満足度について
12	ES	従業員満足度について
13	発表会	発表準備
14		会社設立(架空)発表会
15	未来の年表	

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-1		担当教員名	村山 一成				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	① 人間の行動特性から起こりうるヒューマンエラーの仕組みを理解し、そのエラーコントロール手法を習得する。 ② エラー防止の実践と定着をめざす。 ③ 企業における安全風土の意識づくりの重要性を理解する。							
到達目標 (150文字程度)	人間はエラーを起こしやすく、小さなエラーを発端として大きな事故に繋がっていく。そのメカニズムを確実に理解し、危険予知の手法を学ぶことで自分自身を守り、かつ職場の仲間を守る安全な職場環境にするための基礎知識を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	安全は航空業界に関わらず、すべての業務において最も重要な課題です。今後、さまざまな業務に携わっていく者として、まず自分を守ること、仲間の安全を守ることを常に意識できるよう授業に望み、知識を積極的に吸収してください。							
教科書	書名	HF's訓練パワーポイント			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	ヒューマンファクターズについての進め方及び評価方法
2	HF's基本原理	ヒューマンファクターズの基礎
3	ヒューマンファクターズとは	人間の要素と行動思考との関連性を理解
4	人間の特性	人間の脳の情報処理
5		メカニズムを理解
6	エラーの分類と対策	エラータイプの理解
7		エラーを増加させる要件
8	バイオレーション	バイオレーションの理解と防止
9	環境・健康と安全	環境が安全行動に及ぼす影響を理解
10		健康が安全行動に及ぼす影響を理解
11	チームコーディネーション	多人数で「行動することのメリット」を学ぶ
12		
13	エラー防止の実践法	エラーコントロールを理解
14	ケーススタディ	エラーの防止法について理解
15	グループ討議、発表	ビデオ視聴によるエラーの発見と対処についてグループごとに討議。結果を発表し各個人の理解力を深める。

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-2	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	各担当の業務上の知識だけに留まらず、空港施設や空港内における様々な規則、ルールについての理解を深める。							
到達目標 (150文字程度)	空港内における様々な規則、ルールを理解すると共に業務間の繋がりを相互理解する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%					
教員実務経験	空港内に於いての実務経験者							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務に関する幅広い知識の習得に積極的に取り組んでください。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	空港特性	現行各航空会社で運用されている機種の説明と用途について
2		航空機を運航するにあたっての各関連セクションとの繋がりについて
3		日本国内で旅客便が就航している空港の特性と問題点について
4		各空港における規則の相違点について(空港特性)
5		空港保安に関する過去事例と対策について
6	空港内における異常時の対応	空港内における気象に関する各警報の意味と対応方法について
7		航空機出発作業時に遅延した際の遅延理由コードの構成と意味及び時間管理の重要性について
8		各機種で決められている標準作業工程と各セクションの役割について
9		悪天候下において空港がどのように運用されているのかについて
10	空港内の保安と安全	航空貨物扱いの危険物と手荷物扱いの危険物取扱上の相違点について
11		新聞等にて報じられる航空業界の事例について
12		空港内に於いて発生した過去の事故・イレギュラー事例を取り上げ原因と対策を研究する
13	航空業界について	日本の航空輸送の現状と今後の発展について
14		日本国内における空港の現状と今後の展開について
15	まとめ	総括

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	コンピュータ実践		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	コンピュータネットワークの基礎知識とウィルス対策を学習し、ワープロソフト(Microsoft Word)、表計算ソフト(Microsoft Excel)、プレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point)で基礎的な使用方法を習得する						
到達目標 (150文字程度)	パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、タッチタイピングを身につけ、空港業務に活かせる基本的スキルを習得する						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク	100%			
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務でも報告書や提案書、案内文を作成する機会は多々あります。コンピュータ教室で各々PCを使用し、繰り返しの実践で基本的な操作に慣れ、デスク業務においても即戦力となれるよう取り組んでください						
教科書	書名	なし		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	コンピュータ教室の使い方、コンピュータ関連の基礎用語、文字入力基礎
2	タイピング	キーボード操作(タッチタイピング練習)
3		
4	インターネットとウィルス対策	ネットワークの基礎知識・インターネットの脅威
5	Word	Wordの基本操作、文書作成演習
6		
7		
8	Excel	Excelの基本操作 基本的な四則演算と関数 グラフ作成
9		
10		
11	Power Point	Power Pointの基本操作 資料のデザイン、演習 プレゼンテーション資料の作成
12		
13		
14	ビジネスメール	ビジネスメールの基礎
15	まとめ	課題作成

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	コミュニケーション実践	担当教員名	田中 あおい					
授業形態	演習	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	伝える力としての非言語・言語表現力「文章」「会話」を中心に、テーマ別に学び社会人としてのコミュニケーション基礎力を体得する							
到達目標 (150文字程度)	2WAYコミュニケーション、論理性、語彙力に重点を置き、自分の伝えたことが相手にすべて伝わる訳ではないことを話し手と聞き手共に理解した上で、実践練習を通し、自己と他者の差異を超えグローバルに協働できるコミュニケーション力を身に付ける							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク					
		50%	50%					
教員実務経験	客室乗務員における実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人デビューに向けて、コミュニケーション力に磨きをかけます。毎回の実践練習ワークに積極的に参加し、自己本位のコミュニケーションから、相手が理解しやすいコミュニケーション力へとマインドセットしてください							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	コミュニケーション・スキルの学び			書名	文章力の基本の基本		
	書名	雑談力が上がる話し方			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義の内容及び目的の説明
2	文書作成力	説明力を高めるポイント
3		文の基本形・簡潔に書く
4		わかりやすく・的確に書く
5		より共感を得やすい表現、メタファー
6	会話力	雑談力を身につける
7		会議の司会進行をする
8		間違いやすい敬語・正しい敬語を使う
9		話し方、発声、朗読練習
10		相手の話を聞きだす
11		アンガーマネジメントの必要性と実践
12	より良いコミュニケーションのために	アンコンシャスバイアス、ダイバーシティ&インクルージョン
13		チームビルディング、グループディスカッション
14	まとめ、成果確認	
15		

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	ロードコントロールⅡ		担当教員名	浅田 健一				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要	ロードコントロールⅠで学んだ航空機の重量重心管理及びロードコントロール業務の基礎を生かし、より実践的な空港業務を理解する。							
到達目標	実践的な搭載重量・重心位置管理の算出及び搭載計画・Weight&Balance Manifestの模擬作成ができる知識を習得する。 また、ロードコントロールと空港業務の位置づけを理解する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン企業におけるロードコントロール実務経験							
学生へのメッセージ	ロードコントロールⅠで学んだことを深め、生かせる知識を身につけましょう。 搭載業務を知ることで空港業務を理解しましょう。							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	なし			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ロードコントロールⅠ (リマインド演習)	ロードコントロール業務について
2		重心位置・水平尾翼について
3		重量と航空法
4		重量②
5		ATOWの算出
6		ペイロードの算出
7		各重量の算出
8		Weight&Balance Manifest ALIGNMENTとINDEX
9	空港業務との繋がり	空港業務とWeight&Balanceの関係(オペレーション部門)、OMCについて
10		空港業務とWeight&Balanceの関係(旅客ハンドリング)
11		空港業務とWeight&Balanceの関係(グランド・貨物ハンドリング)、ULDについて
12		ヒューマンファクター・ヒューマンエラー
13		航空機事故事例紹介・フレーター業務
14	復習	まとめ①
15		まとめ②

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	グランドハンドリング業務Ⅱ	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	多様化するグランドハンドリング業務において、整備補助業務の作業内容と搭降載業務以外の地上支援業務の基礎知識を学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	地上支援業務と整備補助業務の内容を理解し、航空機を安全にハンドリングするための基礎知識を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験者							
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務に携わる者として、搭降載業務以外のセクションの知識と関係および整備補助業務についての知識を積極的に吸収して下さい。							
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	復習	1年次に学んだ内容の確認
2	誘導作業	マーシャリング及びウイングウォッチ作業の重要性と合図・動作について
3	搭載・取り出し作業	各機種の旅客乗降ドアの構造と操作方法について
4		各機種のCARGO DOORの構造と機構・操作方法について
5		航空機への搭載・取り出し作業について
6		貨物便と旅客便における搭載/取り出し作業工程の違いについて
7		旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
8	その他地上支援業務	機体地上サービスに関わる作業の種類と内容について
9		客室サービス作業の種類と内容及び時間管理について
10		機体の除雪・防氷作業の必要性と種類及び意義について
11	関連知識	航空機の運航パターンと運航スケジュール表の見方から時刻管理の重要性について
12	安全	空港安全講習に備えて空港規則を理解する
13		過去に発生した空港内での不安全事象の発生原因と対策を考え安全に対する意識向上を図る
14		
15	まとめ	総括

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	グランドハンドリング実習Ⅱ-1	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・田中 敏・熊澤 成弘					
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグランドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	実技試験	取り組み姿勢				
			90%	10%				
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。							
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~15	フォークリフト (FL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> FL車の性能諸元や荷役機能の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。 FL車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(後輪操舵による走行時の注意点、荷役作業時の注意点、ディーゼルエンジンの始動方法) 走行、荷役操作における確認ポイントの理解。 車両誘導方法を理解する。 貨物の積み付け、移動が単独で行えるよう技術を習得する。
16~25	ベルトローダー (BL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ベルト部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。 機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。 バラ積み貨物の機内への搭載方法を理解する。 運転手と誘導者はとの連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。
26~35	ブッシュバック作業 (VR)	<ul style="list-style-type: none"> VRを使用しての実習についての趣旨を理解する。 VRを使用してPBについて理解する。 VR内にて機体を安定して真っすぐ押し出せる技術を確認、理解する。 VRの特性を活かし、何故禁止であるか、何故危険であるかを疑似体験する。
36~60	ハイリフトローダー (HL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両の特性、諸元を理解し、走行並びに機体への装着、離脱における注意点、確認のポイントを理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、ストッパー、等の著しい損傷がないかの点検を実施。 取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。 CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。 操作者と誘導者との連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グラウンドハンドリングコース						
授業科目名	グラウンドハンドリング実習Ⅱ-2	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・田中 敏・熊澤 成弘					
授業形態	実習	授業時数	150	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	実技試験	取り組み姿勢				
			70%	30%				
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にて、より実践に近い形で習得します。							
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~15	トローイングトラクター (TT) プッシュバック	<ul style="list-style-type: none"> 車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。 パレット連結を誘導者と共に安全に実施出来るよう技術を習得する。 パレット連結をした状態で搬送及び駐車が出来よう技術を習得する。 エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ヘルム部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。 ダミーシブを使用しプッシュバック作業が実施出来るよう技術を習得する。 VR(プッシュバック)の違いを理解し、安全を最優先に判断でき、状況に応じ中断の判断が出来るようにする。
16~30	ハイリフトローダー (HL)	<ul style="list-style-type: none"> エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、スッパ、等の著しい損傷がないかの点検を実施。 取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。 操作者と誘導者との連携方法を理解し、様々な様式のある搭載指示書を基に円滑な搭降載作業が出来るよう技術を習得する。
31~60	GSE管理、修繕方法、維持管理方法	<ul style="list-style-type: none"> 実習場内各GSEの管理方法について理解する。 GSE(HL BL TT エアストリーム パレットドーリー コンテナドーリー BULKカート)及びULDの保守管理方法について。 ULD保管に関わる内容を理解し管理する。 GSE修繕、管理方法について理解し、状況に合わせ修繕を施す。 GSEへの注油方法を理解し施す。

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	航空機概論		担当教員名	村山 一成				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の歴史・航空機の仕組み(ベルヌーイの法則)・航空機材の変遷および航空機材のうち旅客機と貨物機の違い・航空会社の変遷を学習する。							
到達目標 (150文字程度)	航空業界で働く上で必要な航空機に関する基礎と運航管理の基礎知識を習得。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
		80%	20%					
教員実務経験	エアライン系企業による業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	飛行原理の基礎知識を学び、航空機の安全運航、かつ定時オペレーションに向けてさまざまな知識を習得することはグランドハンドリング、グランドスタッフとして就業する際の重要なステップとなります。授業科目の重要性を認識し、確実に習得できるよう授業に望んでください。							
教科書	書名	配布資料			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空機の基礎知識	飛行の原理と航空機発展の歴史
2		航空機各部の名称および機能
3		発動機の種類および用途、構造の理解
4		発動機における地上職の危険性
5		航空計器の基礎知識
6		航空機の種類、旅客型機、貨物型機の相違点
7		緊急脱出シューターの基本構造と危険性
8		空港地上職の災害
9		航空会社の歴史と変遷
10	ハンドリングコントロール	ハンドリングコントロール概要
11		スポット運用管理
12		工程管理業務
13		ムーブメントコード解説
14		ムーブメントコード付与の考え方
15		演習および解説

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	企業研修教育(基礎)		担当教員名	村山 一成 ・ (委託先企業)				
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
			企業実習評価	勤務状況				
			80%	20%				
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~30	基礎座学・初期教育	航空会社の基礎知識の取得と初期教育の定着
31~60	実務業務(基礎)	各空港における基礎的な実務業務の実施

2026 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	企業研修教育(応用)		担当教員名	村山 一成 ・ (委託先企業)				
授業形態	実習	授業時数	270	単位数	6	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況				
			80%	20%				
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~75	実務業務(応用)-1	各就職先企業の担当業務における基礎的な実務業務の着実な実施と定着
76~135	実務業務(応用)-2	各空港における実務業務の担当範囲の拡張と品質改善